晴れの国おかやま

くらしき地域普及指導センターだより2024



©岡山県
「ももっち・うらっち」

人づくり 産地づくり ブランドづくり

















岡山県備中県民局農林水産事業部
備南広域農業普及指導センター・農畜産物生産課

表紙の写真説明

（左上）
玉島北もも査定会で収穫時の
注意点を指導する様子



（右上）
地域就農オリエンテーション（桃）





（中央上）
ぶどう「晴王 ®」

（左中央）
畦畔管理
省力化技術の紹介



（右中央）
いちごの調査結果から
指導内容を検討している様子





（中央下）
もも「白皇」

（左下）
吉備路水田農業大規模経営体
ネットワーク
大豆研修会



（右下）
倉敷地域
６次産業化推進会議



裏表紙の写真説明

（左上）
イノシシ対策用の
ワイヤーメッシュ設置





（右上）
専門家による
経営相談

（左下）
ＨＡＣＣＰに基づいた
加工実習





（右下）
地域就農
オリエンテーション
（スイートピー）

目　次

●特集

ぶどう産地の人づくり、ものづくり、ブランドづくり…… １、２

●力を入れています！

白大豆新品種「はれごころ」への品種転換を推進…… ３
プラスチックが残らない水稲栽培を目指しています…… ３
抑草剤で畦畔管理を省力化！…… ４
倉敷地域の農業の魅力を全国にＰＲしています！！…… ４
「冬桃がたり」の栽培が広がってます…… ５
届け！ももの最新情報　～長年続く、市場との信頼関係～…… ５
みんなで技術を高め合い、収量アップを目指せ！！…… ６
資材高騰下でも安定したなす生産がしたい！…… ６
ブランド力アップで「連島ごぼう」をもっと☆…… ７
スイートピーのマーケティング活動を支援！…… ７
６次化商品の安全確保をＨＡＣＣＰで行います！…… ８
経営引継ぎの御相談はお早めに！…… ８
水田裏作に飼料作物を作付けしてみませんか？…… ９

●はじめまして！新農業士です…… ９

●新しく農業を始めます！どうぞよろしくお願いします…… １０

●受賞おめでとうございます

岡山県農林漁業近代化表彰…… １１
岡山県農林漁業功労者表彰…… １１、１２
第71回　矢野賞…… １２
岡山県うまいくだもの共進会…… １２
令和５年度倉敷地方いちご共進会…… １２

特集

ぶどう産地の人づくり、ものづくり、ブランドづくり

玉島北園芸協会葡萄部会（倉敷市）　ＪＡ晴れの国岡山船穂町ぶどう部会（倉敷市）
真備ぶどう生産組合（倉敷市）　秦果樹生産出荷組合（総社市）

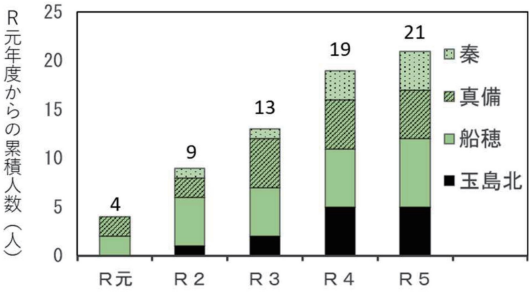
倉敷地域のぶどう産地は高齢化に伴う離農や栽培面積縮小、異常気象による品質低下等により供給力低下が懸念されています。こうした状況の中、普及指導センターでは県下を代表する管内４産地の人づくり、ものづくり、ブランドづくりに向けた取組を進めています。

1 人づくり（担い手育成）

４産地では令和元～５年度に計21人の新規就農者を確保し、現在２人が就農を目指し、県の事業を活用しながら、研修に取り組んでいます。

新規就農者の早期経営確立、効率的な技術習得のため、市、ＪＡと連携したサポートチームで現地巡回し、就農状況の確認、技術指導、経営改善へのアドバイス等を個別に行っています。

また、各産地の新規就農者を対象に「初心者合同研修会」を開催し、産地間交流を図るとともに、農薬の取扱方法や病害虫防除技術の習得の場を設けました。



ぶどうの新規就農者の推移（県調べ）


初心者合同研修会で農薬取扱方法を説明


サポートチームでの現地巡回

2 ものづくり（高品質安定生産）

倉敷地域の「ピオーネ」は、夏季の高温により果皮着色が県中北部に比べて劣っています。そこで、新剤のＳ－ＡＢＡ剤を用い、着色向上効果を調査しました。その結果、写真のように果皮着色は改善しました。しかし、日持ち性がやや劣ることが明らかとなったため、この剤の取扱いについて、今後、各産地で検討します。


Ｓ－ＡＢＡ剤処理（写真右）による「ピオーネ」の着色向上効果

3 ブランドづくり（産地競争力の強化）

令和５年に、東京、大阪、岡山市場の卸売業者に管内４産地のぶどうに対する要望を伺ったところ、ギフト需要に用いられる大粒で房締りが良い高品質なぶどうを安定的に供給することが要望されました。

そこで、夏ギフト需要に絞って大阪、岡山市場の仲卸業者に取扱品種、量や要望等についてアンケート調査しました。

その結果、夏ギフトとして取引きしているのは４品種のみで、そのうち「ピオーネ」、「シャインマスカット」は大阪、岡山市場の全仲卸業者が取引していました。



夏ギフトに使われる岡山県産ぶどう

大阪、岡山市場における品種別の取扱業者数

夏ギフトに使用される品種	岡山市場仲卸 ８社のうち	大阪市場仲卸 ５社のうち
ピオーネ	8	5
シャインマスカット	8	5
マスカット・オブ・アレキサンドリア	8	2
オーロラブラック	2	3
その他	0	0

※倉敷地域４産地（玉島北、船穂、真備、秦）が対象

仲卸業者からの夏ギフト用のぶどうに対する要望

岡山市場	大阪市場
・産地間で選果基準（房形、着色、果粒）にばらつきが大きい ・タイムリーな産地情報が欲しい ・単価は高いが、品質に見合っていない	・最高等級品でも、果粒の大きさ、房形、着色程度にばらつきが大きい ・夏ギフトの「シャイン」は大粒が欲しい

また、夏ギフトに使用されるぶどうに対して、選果のばらつきの改善や果粒の大粒化、産地情報の発信などを要望していることがわかりました。これらのことを産地にフィードバックすることにより高品質生産・出荷への意識啓発を図っています。

4 おわりに

普及指導センターでは関係機関と連携し、引き続き産地の受入体制を強化し、新規就農者の確保や就農を目指す研修生の営農能力の習得を支援します。

また、栽培技術の底上げにより生産力の維持、品質向上を支援し、産地全体のレベルアップを図ります。

販売力の強化については、県南ぶどう産地の強みを生かした販売が展開できるように、産地と主要市場との情報共有を密に行い、信頼を深める活動に取り組みます。



ちから 力を入れています！

白大豆新品種「はれごころ」への品種転換を推進

吉備路水田農業大規模経営体ネットワーク（倉敷地域）

「はれごころ」は令和５年に県の奨励品種に採用され、令和６年産から栽培が始まりました。従来品種の「トヨシロメ」に比べ、紫斑病等の病気に強い、収量が 15%程度多い、主茎長が短く耐倒伏性が強いといった特徴がある一方、最下着莢位置が低いため、収穫時には注意が必要です。

そこで、大型の米麦農家や集落営農組織を会員とするネットワークの現地研修会を開催し、品種特性に合った栽培管理、収穫作業時のポイントを説明しました。

今後も栽培技術や病害虫対策等の情報を発信し、大豆の安定生産を図っていきます。



「はれごころ」の現地研修会



「はれごころ」（10 月上旬）

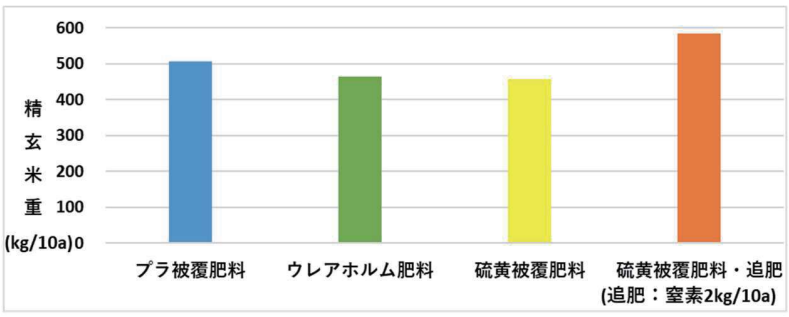
プラスチックが残らない水稲栽培を目指しています

水稲栽培農家（倉敷地域）

水稲栽培では、一度の施肥で生育後半まで肥効が持続するプラスチック被覆肥料が広く使われていますが、肥料の溶出後にプラスチック殻が河川へ流出することによる環境への影響が問題視されています。そこで、代替肥料としてプラスチック不使用の被覆肥料の実証を行っており、令和６年度は、前年度まで供試した晩生品種「アケボノ」に続き、地域で栽培が増えている中生品種「にこまる」での実証を行いました。

高温傾向が続いたため、代替肥料ではプラスチック被覆肥料以上に肥料の溶出が早まり収量が劣った一方、省力的な流し込み肥料で追肥した区では慣行以上の収量が得られました。

これからも脱プラスチックに向けた取組を関係機関と検証していきます。



収量調査結果（ふるい目 1.80mm、水分 15% 換算）

ちから 力を入れています！

抑草剤で畦畔管理を省力化！

倉敷地方農業技術者連絡協議会（倉敷地域）

中山間地域では急傾斜な畦畔法面が多く、生育期間中に年４回程度行う畦畔法面雑草の刈払い作業は、高齢化が進む生産者にとって労力面、コスト面で大きな負担となっています。

そこで、抑草剤を草刈り後の畦畔法面に散布することで雑草の伸長を抑制し、刈払い作業回数の削減を目的とした省力管理技術を実証しました。

抑草剤散布後は雑草の生育が１か月以上抑制され、刈払い作業を２回省略 したことで作業時間 47%、コスト 43%を削減できました。

今後は、生産者の管理体系に合わせた散布 時期等について検討し、省力化に有効な技術 として普及することで、生産者の労力やコス トの低減を支援していきます。



新抑草剤散布（左）後 34 日の状況

倉敷地域の農業の魅力を全国にＰＲしています！！

倉敷地域農林漁業担い手育成対策協議会（倉敷地域）

新規就農者確保のため、東京や大阪で開かれた就農相談会に相談ブースを設置しました。相談会では、玉島北園芸協会桃部会、総社もも生産組合、吉備路もも出荷組合の協力を得て、市の担当者とともに相談に来た方に対して、倉敷地域の農業の魅力と支援施策、白桃栽培についてＰＲしました。

さらに普及指導センターでは、新規就農希望者に対し、倉敷地域の農業を知ってもらうため、地域就農オリエンテーション（6･10 月）や個別現地訪問への誘導を通して、産地とのスムーズなマッチングを支援しています。



新・農業人フェア（大阪）での相談対応



地域就農オリエンテーション



ちから 力を入れています！

「冬桃がたり」の栽培が広がってます

もも産地（倉敷市・総社市）

労働分散と出荷期間の延長を図るため、晩生品種の導入が進んでいます。

その中でも「冬桃がたり」は、11 ～ 12 月に出荷する品種で、高単価で取引されることから各産地で栽培が広がっています。

普及指導センターでは、収穫適期を把握するため、果実の熟度と関連する硬度を測定できる音響振動装置等を活用して品種特性を調査しています。今後も各産地でデータ収集、分析し、果実品質の向上を進めます。



収穫直前の「冬桃がたり」



出荷を待つ「冬桃がたり」

届け！ももの最新情報　～長年続く、市場との信頼関係～

浅原園芸組合（倉敷市）

普及指導センターでは、主要出荷先の岡山の市場や仲卸業者にタイムリーな生育状況等を知ってもらうため､「倉敷浅原もも便り」を年間４回程度､チラシ配付しています。

この取組は平成 22 年から始まり､「毎年便りを待っている」､「今の生育状況が良く分かる」と、15 年目となった現在も高い評価を得ています。今後も産地と市場関係者との情報交換を密にし､「浅原のもも」のブランド強化を支援していきます。



今年発行した「倉敷浅原もも便り」

みんなで技術を高め合い、収量アップを目指せ！！

倉敷地方施設いちご研究会（倉敷市、総社市）

いちご生産農家で組織される倉敷地方施設いちご研究会は、視察研修会や技術情報誌の発行、共進会などの活動を通じて、生産技術の向上と消費者へのＰＲを図っています。

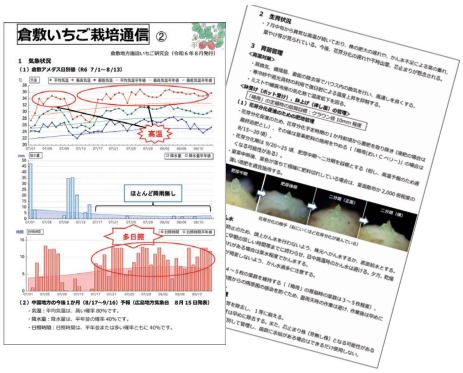
普及指導センターでは、いちご栽培で問題となっているハダニ類の被害軽減を図るため、天敵を活用したハダニ類対策をテーマに、８月に２日間にわたる研修会を開催しました。

研究会員は、専門家による実技を交えた天敵導入ポイントの説明をはじめ、天敵を用いたハダニ類防除の実証結果報告や害虫の薬剤抵抗性を回避するための管理法などの説明を熱心に聞き、疑問点について質問するなど、理解を深めました。

今後も、実証結果や研修内容をもとに、天敵を利用したハダニ類対策マニュアルを作成し、被害軽減・品質向上を支援します。



天敵研修会



技術情報誌「いちご通信」

資材高騰下でも安定したなす生産がしたい！

吉備路夏秋ナス生産出荷組合（倉敷地域）

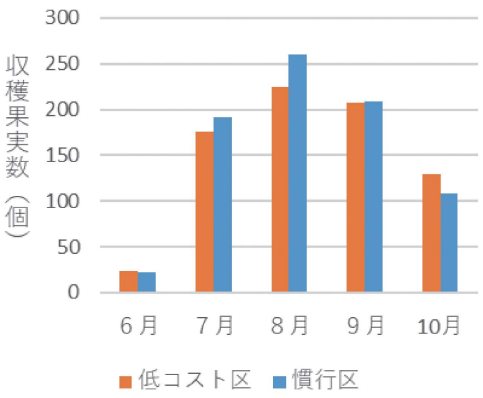
普及指導センターでは、前年に引き続き、従来の高価な複合肥料に代わる、比較的安価な単肥による低コスト施肥設計確立に向けた実証を行いました。

低コスト区は慣行区と比べて、肥料コストが約 35％削減されましたが、生産者からは「従来の肥料の方が栽培全般の生育がよかった」という声があり、実際に収穫果実数も、削減したコストを超える約 10％の減少となりました。

今後も産地の課題解決に向け、各種実証に取り組み、高品質安定生産を支援します。



低コスト施肥で生育した夏秋なす



収穫果実数の推移（４株）

ちから 力を入れています！

ブランド力アップで「連島ごぼう」をもっと☆

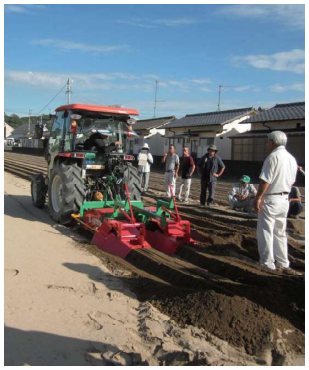
ＪＡ晴れの国岡山東部出荷組合（倉敷市）

「連島ごぼう」は、平成 28 年に地理的保護制度 (GI) に認定されました。ブランド力のさらなる向上に向け、今年度は、生育・気象・販売・病害虫状況等が掲載された情報誌「モグ丸通信」（毎月発行）の発信や、省力化を目的に新たに導入したトレンチャーを利用した実証ほの設置などで高品質安定生産を推進しました。

さらに実需者アンケートやレシピ開発など利用拡大に向けたマーケティング活動にも取り組んでいます。



情報誌「モグ丸通信」



トレンチャーによる
省力化実証



マーケティング活動支援

スイートピーのマーケティング活動を支援！

ＪＡ晴れの国岡山船穂町花き部会（倉敷市）

倉敷市船穂町は全国有数のスイートピー産地です。

花き部会では白色品種を色素で染めた染め品種に力を入れていますが、手をかけて染めても消費ニーズとマッチしないと、単価が変動して思った値がつきません。

そこで、普及指導センターでは、ＪＡ、部会などと連携して、スイートピーの取扱量が多く、東京・大阪等に店舗を展開する大手花屋を対象に、令和５年 12 月にニーズ調査を行うとともに、染め品種の新色開発を支援しました。

その結果、ニーズに対応した染め品種ミックスの開発、一定の出荷量を定額で取引する取組が進み、単価が安定し、売上が向上しました。



開発したラバーズミックス



大手花屋で販売されたスイートピー

６次化商品の安全確保をＨＡＣＣＰで行います！

６次産業化経営体など（倉敷・井笠地域）

６次化商品の安全確保が問われる中、倉敷・井笠地域で６次産業化に取り組んでいる農林漁業者を対象に「倉敷･井笠地域６次化商品開発研修会」(全２回)を開催し、14人(倉敷地域７人、井笠地域７人)が受講しました。

岡山県農業開発研究所の職員を講師に、１回目は「野菜を使った漬物加工の基礎」と題してＨＡＣＣＰについて講義を受け、２回目では「ＨＡＣＣＰに基づいた漬物製造」の実習を行いました。

今後、受講者たちが、衛生管理の行き届いた６次化商品づくりを実践し、販路が拡大することを期待しています。

※「ＨＡＣＣＰ」とは、食品の安全を確保する衛生管理の手法のことです。



漬物製造の実習



ＨＡＣＣＰについての講義

経営引継ぎの御相談はお早めに！

認定農業者など（倉敷・井笠地域）

「後継者に経営を引継ぎたい」という相談が増えており、普及指導センターでは研修会の紹介や開催、専門家派遣による支援を行っています。

10月17日に、相談の多い地区で研修会を開催しました。参加者は引継ぎの手続き、資産の引継ぎに関するポイントや税制等を幅広く学びました。

経営の引継ぎには後継者の選定・育成が必要で、引き継ぐものは経営権、資産、栽培技術や取引先の人脈など様々なため、計画的に時間をかけて取り組む必要があります。

このため、経営を引き継ぐ予定の数年前からの、早めの相談をお勧めします。

農林水産省の「経営継承」のホームページに、役立つ情報が掲載されていますので、参考にしてください。

農林水産省のホームページ：https://www.maff.go.jp/j/keiei/keieikeisyo.html



経営引継ぎ研修会の様子





農水省ＨＰ載されている資料

ちから 力を入れています！

水田裏作に飼料作物を作付けしてみませんか？

畜産農家・耕種農家（倉敷地域）

外国産の飼料価格が高騰する中、畜産農家からもっと国産の飼料が欲しいとの要望が上がっています。

現在は、畜産農家が自らの水田で、秋作のイタリアンライグラス（牧草）を作付けしていますが、需要量を満たしておらず、さらなる飼料作物の作付け拡大が課題になっています。

今年度、農畜産物生産課畜産班では、ＪＡ、当課農産班、普及指導センターと連携し、今まで事例が少なかった耕種農家による水田裏作として、飼料作物の栽培実証を行い、コストや雑草などの各種影響を調査することで、今後の普及に向けたデータを収集しています。

耕種農家による稲ＷＣＳ、飼料用米などの飼料生産は畜産農家の大きな助けとなっていることから、今後も堆肥の利活用を含め、耕畜連携を進めていきます。





イタリアンライグラスの収穫作業

はじめまして！新農業士です

浅野真一さん（倉敷市船穂町） 基幹品目 果樹（ぶどう）



Ｕターン・後継型で就農して 29 年が経ちました。父から経営移譲後、栽培面積の拡大や自動換気装置等の省力化、廃熱回収機等の省エネ化を図ってきました。

現在は、夫婦二人で、量より一層品質にこだわった栽培に取り組んでいます。

三宅伸博さん（倉敷市連島町） 基幹品目 野菜（ごぼう）



平成 21 年に連島ごぼう農家の後継ぎとして就農しました。

平成 28 年に国の地理的表示保護制度（ＧＩ）に登録された「連島ごぼう」の更なる知名度向上と機械化等による生産の効率化に取り組んでいます。

新しく農業を始めます！どうぞよろしくお願いします



蜂谷 恵さん

倉敷市　水稲

おいしいお米を作っています。ぜひ食べてください。



浅野郁斗さん

倉敷市　ぶどう

高品質なマスカットを作りたいです。



石井稔也さん

倉敷市　ぶどう

高品質なシャインマスカットを作りたいです。



難波雅明さん

倉敷市　もも

岡山のおいしいももを全国に知っていただけるように頑張ります。



大島亮聡さん

倉敷市　もも

おいしいももを作り、皆さんに食べていただきたいです。



渡邉記代さん

倉敷市　もも

おいしいももを作って地域に貢献できるようにがんばります。



川嵜雄介さん

倉敷市　もも

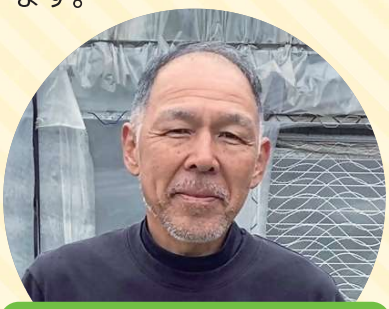
高品質なももを作れるように頑張ります！



前田真一さん

倉敷市　ぶどう

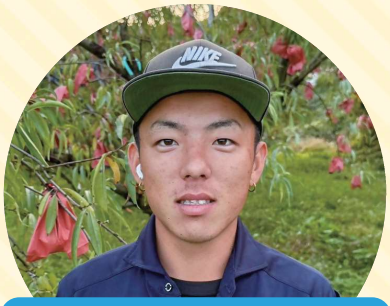
ぶどう作りを通じて人生を豊かにし、地域の活性化・発展に少しでも貢献したいです。



狩屋 明さん

総社市　ぶどう・もも

就農したばかりで分からないことも多いですが、先輩方に相談しながらがんばりたいです。



北村零士さん

総社市　もも

高品質なももを作り、岡山のももを全国に広げていきたいです。

令和６年２月～11月までに新規就農者として市、町から報告があった人の一部を掲載しています。



©岡山県「ももっち」

受賞おめでとうございます

岡山県農林漁業近代化表彰

農事組合法人 軽部営農組合（総社市）

水稲、大麦の二毛作により土地利用効率を上げ、黒大豆枝豆やスイートコーン等の収益性の高い品目を導入し、安定的な法人経営を確立しています。また、年間作業表や機械利用表等を作成して多くの組合員が参画できる仕組みを作り、地域農業の維持発展に貢献しています。



岡山県農林漁業功労者表彰　知事表彰

植野　利昭さん（倉敷市）

一筆のほ場面積が小さい地域で、米麦栽培と乾燥調製作業受託を拡大し、大規模水田経営の模範となっています。また、耕畜連携やプラスチック殻の出ない水稲の代替肥料の実証、稲わら全量すき込みによる野焼き防止など、環境負荷低減に向けて先駆的に取組み、水田営農の課題解決に尽力されています。



岡山県農林漁業功労者表彰　知事表彰

難波　健治さん（倉敷市）

玉島北園芸協会会長（桃部会長）として、県内トップクラスの栽培面積を有するももの大規模経営に取り組み、地域に先駆けた新品種を含めた極早生品種から極晩生品種までのリレー出荷を実現させています。

また、新規就農者等の受入農家となるだけでなく、園地流動化や農地集積による新園地確保の体制づくりにも尽力されています。



岡山県農林漁業功労者表彰　農林水産部長表彰

井上　昌彦さん（倉敷市）

ＪＡ晴れの国岡山船穂町花き部会の部会長として、スイートピー産地をけん引し、ニーズに対応した染め品種セットの開発など、マーケットインの視点に立った商品づくりによるブランド力向上や、新規就農者確保の取組に尽力されています。



岡山県農林漁業功労者表彰　農林水産部長表彰

小松原　明代さん（倉敷市）



さつまいもを中心とした「おかやま有機無農薬農産物」栽培に長年取り組み、学校給食会への出荷等で所得安定を実現し、有機野菜の経営モデルとなっています。また、他集団との連携や優良技術の普及でリーダーシップを発揮するとともに、食育活動を積極的に行い、地域活性化や有機農業への理解促進に貢献されています。

第71回矢野賞

小見山　裕之さん（倉敷市）



船穂町のぶどう農家三代目として平成26年に就農後はシャインマスカットの栽培面積を拡大するとともに極早期栽培から無加温栽培までの多様な作型に取り組んでいます。また、環境測定装置を導入し高品質なぶどうづくりに取り組み、県の共進会にも入賞されています。

岡山県うまいくだもの共進会（もも）岡山県知事賞

山本　康子さん（総社市）



もも農家の２代目で、平成28年に就農されました。現在は夫婦２人、25aのほ場で６品種のももを栽培されています。

受け継いだ樹を大切にしながらも、順次改植を進められています。

今後は「冬桃がたり」の栽培面積を増やすことで、経営の安定化を目指されています。

岡山県うまいくだもの共進会（もも）岡山県知事賞

渡辺　真吾さん（総社市）



現在は兄弟など4人で、30ａのほ場で６品種のももを栽培されています。会社員との二刀流で栽培しながら、ももの生育を十分に見極めつつ各種作業を進められています。今後も会社員との両立を図りながら、高品質なももの栽培を目指されています。

令和５年度倉敷地方いちご共進会

備中県民局表彰　小川　和重さん（倉敷市：中央）

倉敷市長賞　安原　雅士さん（倉敷市：左）

総社市長賞　秋山　哲哉さん（総社市：右）











岡山県備中県民局農林水産事業部

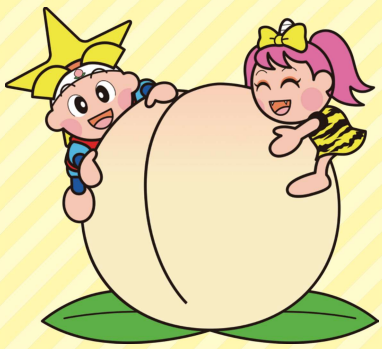
〒710-8530　岡山県倉敷市羽島 1083 番地

備南広域農業普及指導センター

☎　(086) 434-7047（革新農業推進班）
☎　(086) 434-7048（担い手・農産班）
☎　(086) 434-7049（園芸班）
FAX (086) 421-8253
メール kura-fukyu@pref.okayama.lg.jp
H　P https://www.pref.okayama.jp/soshiki/95/

農畜産物生産課

☎　(086) 434-7033（畜産第一班）
FAX (086) 425-4921



©岡山県「ももっち・うらっち」